

助成受給団体名	ふりがな いっぽんしゃだん(ほりほ) さんりく しせんとがっこう 一般社団法人 三陸ひつなぎ自然学校
実施期間	「覚書」第2条で定めた期間を書いてください。 平成25年8月1日～同26年7月31日
<p>実施した事業の内容(200字以上500字以内に収めてください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども安心安心検討委員会 (①8/8, ②11/23) ① 釜石市教育委員会、仮設自治会長、保護者、小学校教員、当団体職員など子どもの居場所に関して考え。② 事業の報報、意見交換 ・ 子ども安心安心27° (①8/28, ②8/29) 鶴住居、栗林の2カ所で開催。子どもたちと仮設周辺を散策し、「どんな遊びかできるか? どんな場所が気持ちがいいか?」などを考えた。 ・ 研究会 (①10/9, ②11/6) 検討委員など大人に対して実施。① ネットワーク(以下、NG)を通じて子どもの安心安心を考える。② 森林インストラクターと共に限られた場所での自然のなかでの遊びの展開について考える。備品: NG用品を購入し、研究会や子ども教室で使用。消耗品ではあるが現在も子ども教室で使用。 ・ 子ども居場所フォーラム(11/4) 基調講演「子どもの居場所とは? 根拠なき自信を育むために」、トークセッション ・ 報告書の作成: 本事業の内容、成果、課題等をとりまとめた冊子。地域住民や地域内外で活動している方々の本事業の内容を伝える際には、より具体的に伝えることが出来るツールを必要。また今後継続住宅などへの移住が進んでいく際に新しいコミュニティ形成のきっかけとしての展開時に活用していく。 <p>今後の課題(200字以上400字以内に収めてください。)</p> <p>被災地の状況はめまぐるしく変化していくため、子ども達の環境や課題も変化すると考えられる。そのため検討委員会を一時的なものに留めず、継続的開催することで、子どもたちがおこなっている環境の課題を常に把握し、それに対してどう行動していくかを地域の方々と考える場を作りたいと思っている。</p> <p>また、2014年度は森林インストラクターの方に定期的に来ていただき、アトビスを貸すばかり、あそび場のフィールドを開拓していく。</p>	

